

令和6年度山本地域保健医療福祉協議会

地域医療推進部会、救急・災害医療検討部会 合同部会 報告

1. 開催日時 令和7年2月19日(水) 午後2時から2時50分まで

2. 場 所 山本地域振興局福祉環境部(能代保健所) 2階会議室

3. 役員改選 ○地域医療推進部会

部 会 長 能代市山本郡医師会 副会長 石川 孝成 委員

副部会長 能代山本医師会病院 院長 加藤 裕治郎 委員

○救急・災害医療検討部会

部 会 長 能代市山本郡医師会 副会長 渡部 英敏 委員

副部会長 能代厚生医療センター 院長 太田原 康成 委員

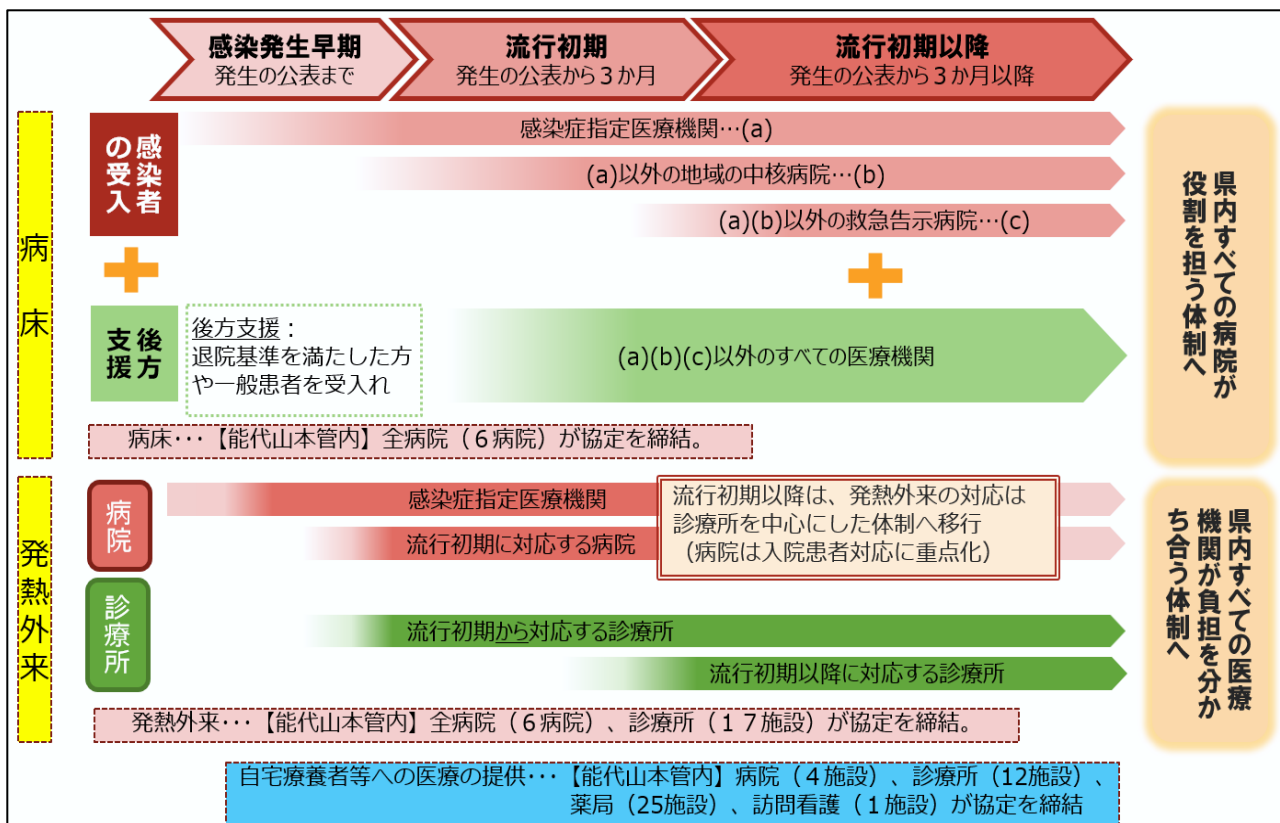
4. 議 題

(1)新興感染症発生・まん延時における医療提供体制及びその体制に係る医療措置協定について

県では、新型コロナウイルス感染症への対応の教訓を踏まえながら、新たな感染症危機に備えるため、これまでの計画を全面的に見直し、新たな「秋田県感染症予防計画」を令和6年3月に策定した。

現在、その計画等に基づき、平時に県と医療機関がその機能や役割に応じた協定を締結し、新興感染症発生・まん延時においてその協定に基づき医療を提供する仕組みづくりが進められており、その現状について情報共有を図った。

○病床及び発熱外来等に係る協定のイメージ



(2)令和6年9月1日 山本地域振興局福祉環境部において実施した「秋田県保健医療福祉調整本部
コーディネート訓練」等について

- ・県では、災害発生地域において、地域振興局福祉環境部(保健所)に「地域保健医療福祉調整本部」を設置し、被害状況及び医療機関の状況の確認、市町村災害対策本部からの情報収集、保健医療福祉調整本部(県庁)への状況報告及び保健医療活動チームの派遣要請等を行うとしている。
- ・令和6年7月24日から秋田県、山形県を中心に大雨が続いたが、由利本荘市では河川の氾濫等による100件の住家の被害等があった。(その住家の被害により、避難所の閉鎖までに約1ヶ月の時間を要した。)
- ・由利本荘保健所では、7月25日に「由利地域保健医療福祉調整本部」を設置。由利本荘市と連携し 避難所の保健医療ニーズの把握等を行った。
- ・本訓練では、その事案をもとに、被災情報等の情報収集や、地域保健医療福祉調整本部の立ち上げ、地域の保健医療ニーズの把握、対応など、基本的な流れを確認した。



山本地域振興局福祉環境部(能代保健所)内の訓練風景